

Aida

AI × Design Talk01 無料オフラインセミナー

資料作成からデザインプロトタイプまで、
AI活用によるワークフロー新時代

2024.08.23 [Fri] 18:00~

会場

Garraway F

Timetable

18:00

オープニング

- ・ 本イベント内容のご案内
- ・ Aida株式会社の紹介

18:10

フェーズごとのAI活用

- ・ 戦略フェーズ～表層フェーズまでプロジェクトフローでみたAI活用の方法
- ・ 活用するAIモデルについて

18:30

戦略・要件フェーズのAI活用実演

- ・ モックテーマを用いた
- ・ 実際のAI活用を実演
- ・ 戦略ミーティング議事録を用いた仕様書の作成

19:10

質疑応答


19:25

クロージング

- ・ 次回案内

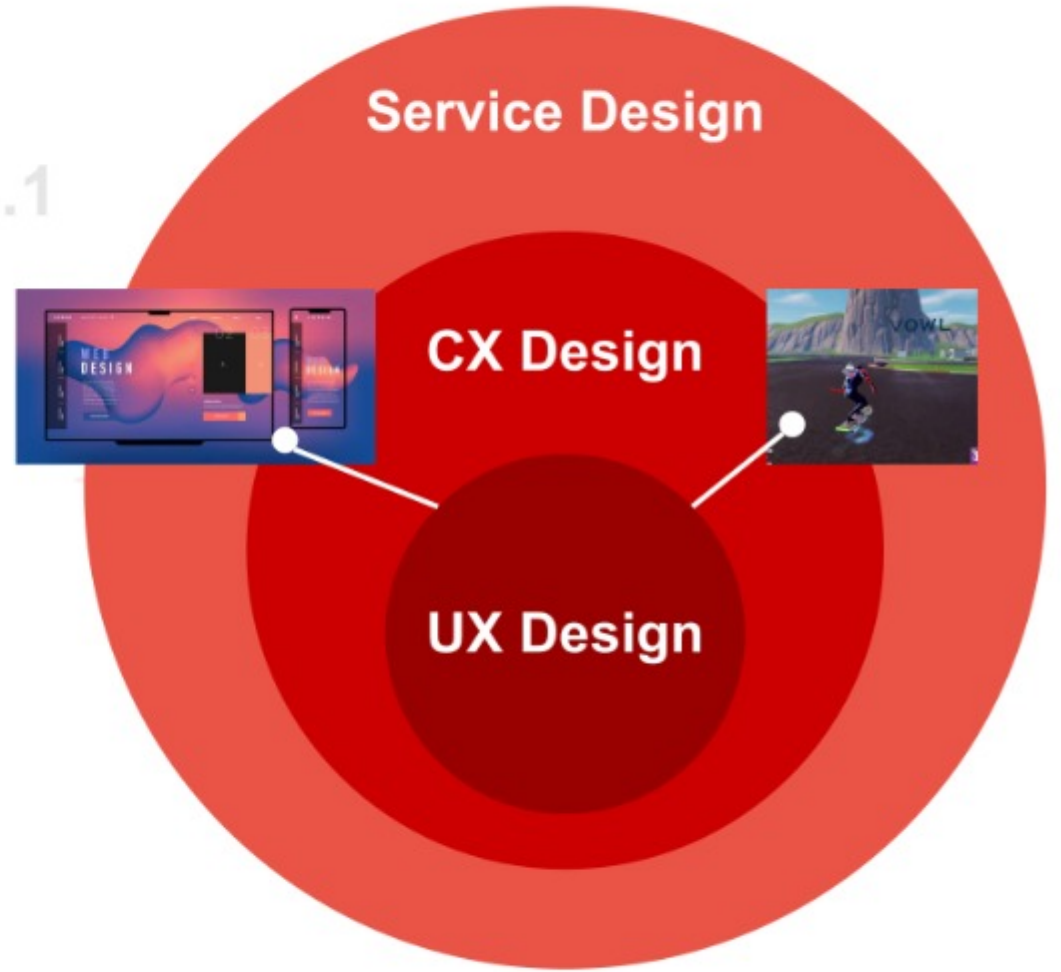
“About Us”

2024.8.1

VOWL →  Aida



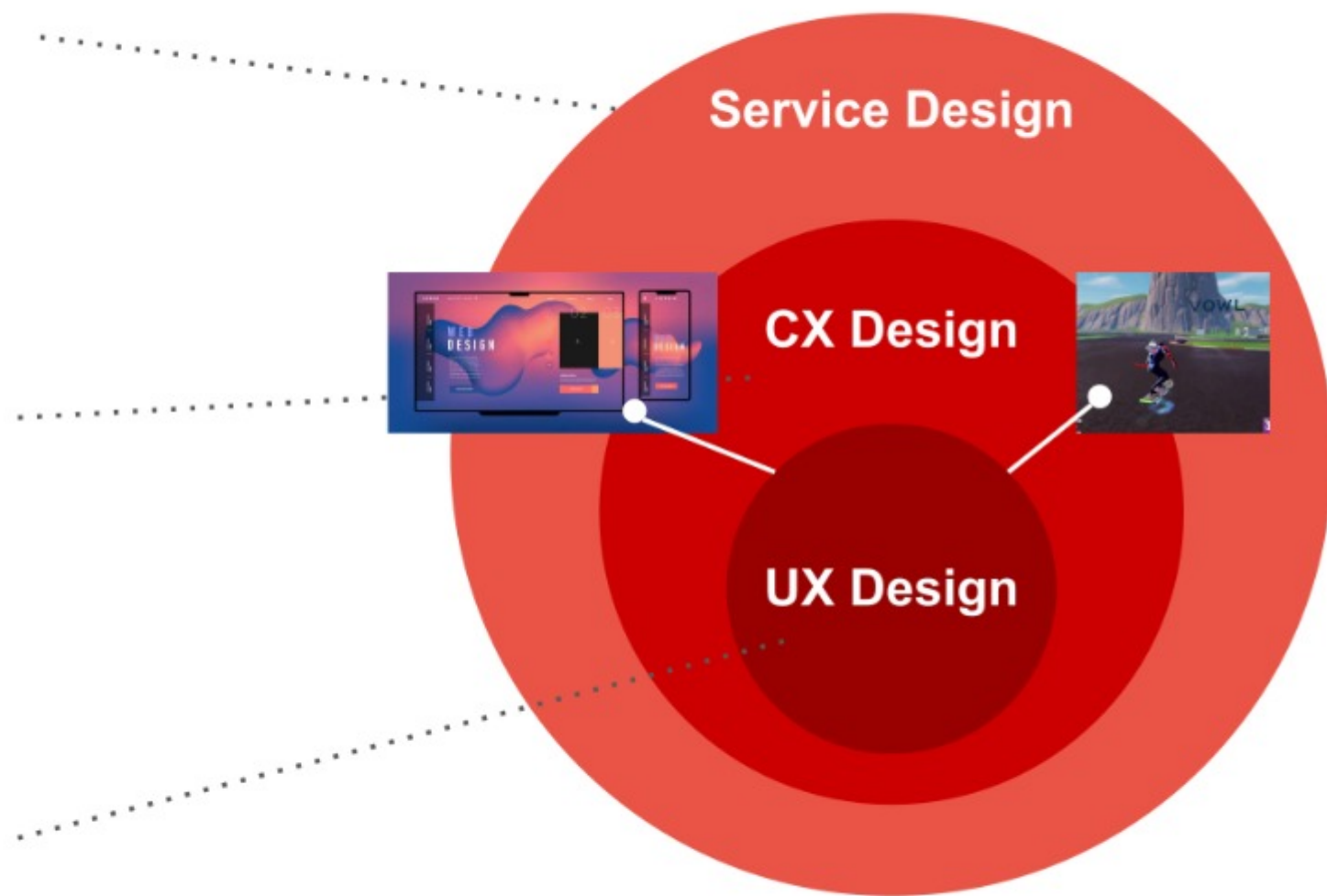
2024.8.1



製品・サービス・企業の
組織、仕組みを
どのように最適化するか？

製品・サービス・企業の
全ての接点の体験を
どのように設計するか？

製品・サービスの**使用体験**を
どのように設計するか？



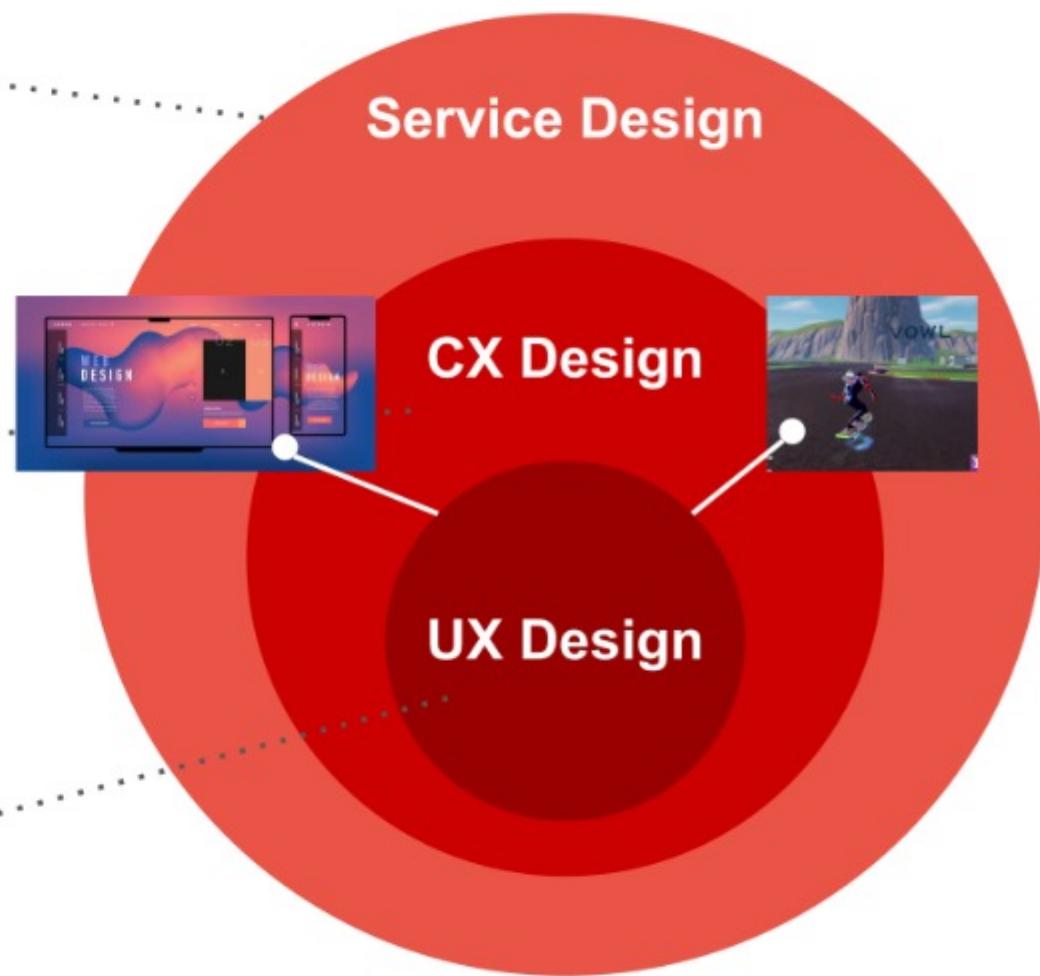
製品・サービス・企業の
組織、仕組みを
どのように最適化するか？

製品・サービス・企業の
全ての接点の体験を
どのように設計するか？

製品・サービスの**使用体験**を
どのように設計するか？

W
i
t
h

A
I



Why AI ?

AIで生成

\CMの歴史が変わる?!/\

マックがCMにAI起用

AIで生成

Human or AI

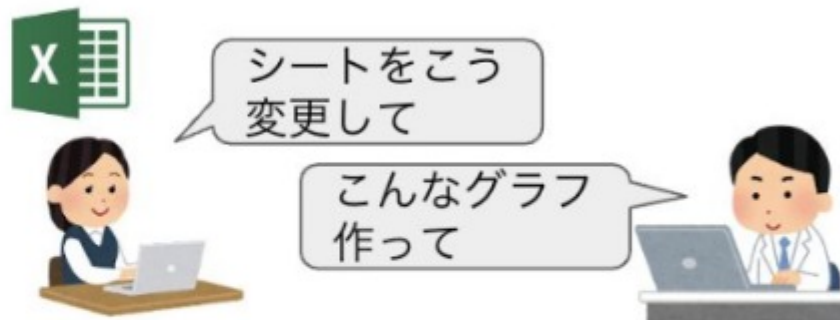
断片的な業務の請負

CMの歴史が変わる?!

マックがCMにAI起用



a. オンライン会議の議事録



b. 対話で操作を指示



f. 問い合わせ対応

Microsoft 365 Copilot



c. 対話で文書を作成



e. パワーポイントの作成



d. RPA作業を自動処理

Human and AI

- ・連続性がある
- ・業務を共に推進する
- ・意思決定を早くする

シートをこう
変更して

こんなグラフ
作って

b.対話で操作を指示

セミナー
内文作って

c.対話で文書を作成

この文書をもとにプ
レゼン資料を作って

この表のデータを
こっちに入力して

e.パワーポイントの作成

d.RPA作業を自動処理

2024

- ▶ 生成AIとの連携性のある印刷への挑戦
- ▶ 生成AIによるワークフローの進化
- ▶ 生成AIとの併読可能なデザイン組織の作り方



#aidatalk



Aida株式会社（エイダ）

Yuya Kamemoto

AIサービスデザインマネージャー

専門学校を卒業後、LINE FukuokaでLINE Qアプリ運営のマーケティング及びデザインを担当。UX/UIデザイナーとして、ITとクリエイティブの両面で多彩な経験を持ち、AI技術を活用したデザインプロセスの効率化と革新に力を入れている。近年ではデジタル人材育成にも注力しており、ワークショップやセミナーの開催や、企業や団体のワークショップ支援などを行っている。



RICOH

社内コミュニティ

イ

運営支援 デザイン思考とアジャイル

デザイン思考や、アジャイルについての社内学習コミュニティの運営を伴走支援。コミュニティ内で隔週実施されるオンラインイベントでメインファシリテーターを務める。同時視聴者数500人超えの社内でも大型イベントコミュニティに成長。



ピクセルカンパニーズ株式会社

リブランディングの ウェブディレクション を支援

事業内容の変更に伴ったリブランディングを行なったピクセルカンパニーズ株式会社のウェブサイトリニューアルのディレクションを担当。ファーストビューからリブランディングを想起させるデザイン、構成を意識し、IR情報の整理に注力し、株価改善に貢献。



鹿児島県志布志市

デジタル人材育成 研修ワークショップ を支援

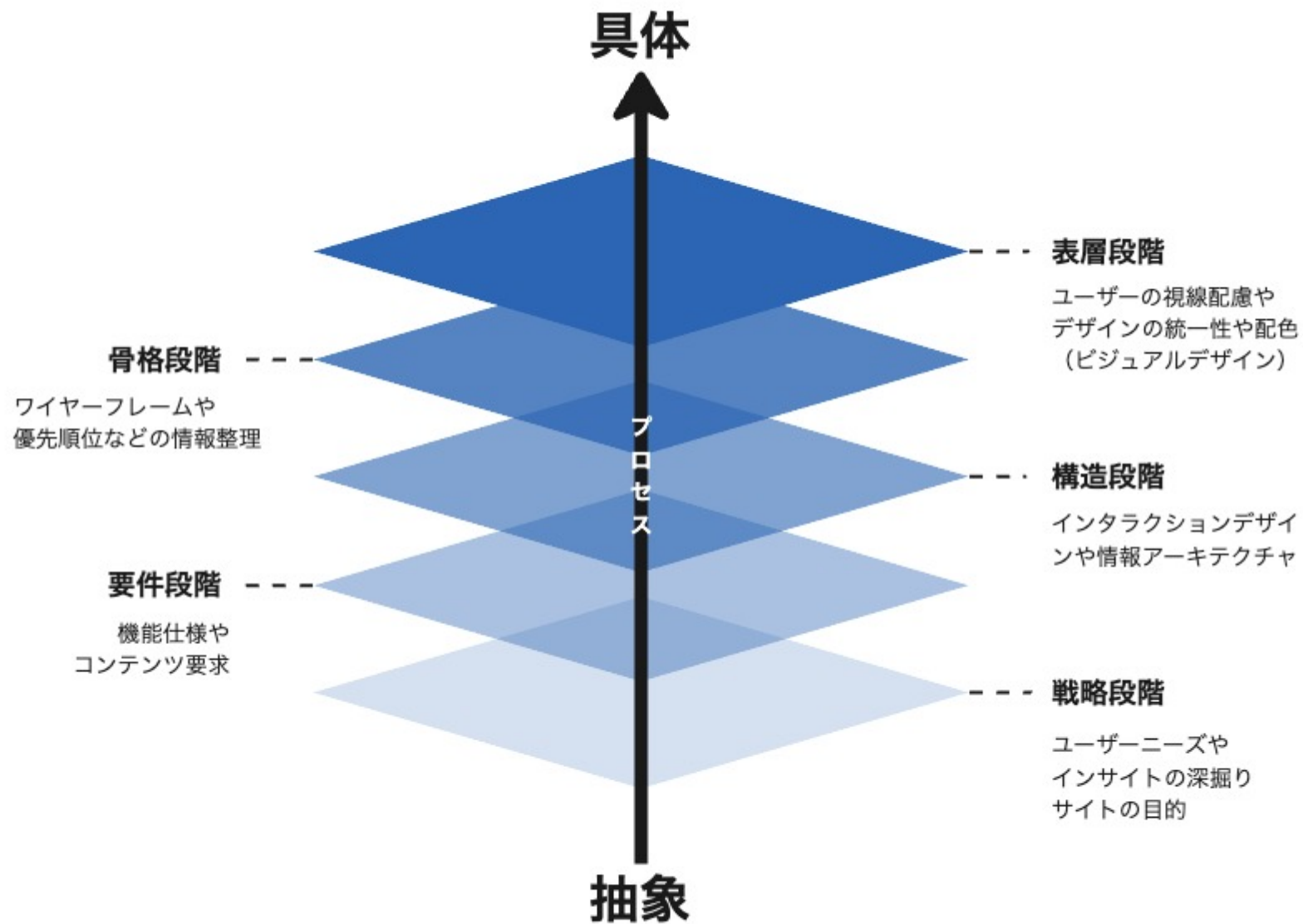
新入社員向けに、デジタル人材育成のためのワークショップを構築・実施。行政分野でのDX(デジタルトランスフォーメーション)とサステナビリティの視点から、まちづくりプロジェクトの企画、策定、提案まで一貫して行えるスキルを習得させる。



フェーズごとのAI活用

Use of AI in different phases

デザインの5段階モデル





業務にどのくらいAIを活用していますか？

メール作成

GPT

デザインの
言語化

GPT

調査（リサーチ）
沿革や事業戦略

GPT
4.0

アイデア発散
コピーライティング

GPT
4.0

デザイン

Claude
3.5
Sonnet



プロジェクトフローでみたAI活用の方法

How AI can be used

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題から
プロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討 (座組)

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討 (座組)

構造段階

- カスタマージャーニー
- ディレクトリマップ
- WBSの作成

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討 (座組)

構造段階

- カスタマージャーニー
- ディレクトリマップ
- WBSの作成

骨格段階

- ワイヤフレーム
- 情報の優先順位付け
- 必要コンテンツのあたり
- プロトタイピング

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討(座組)

構造段階

- カスタマージャーニー
- ディレクトリマップ
- WBSの作成

骨格段階

- ワイヤフレーム
- 情報の優先順位付け
- 必要コンテンツのあたり
- プロトタイピング

表層段階

- UI/UXデザイン
- グラフィックデザイン
- アセット収集

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討 (座組)

構造段階

- カスタマージャーニー
- ディレクトリマップ
- WBSの作成

骨格段階

- ワイヤフレーム
- 情報の優先順位付け
- 必要コンテンツのあたり
- プロトタイピング

表層段階

- UI/UXデザイン
- グラフィックデザイン
- アセット収集

改善段階

- KPIのフィードバック
- レポーティング
- 改善提案
- 改善プロジェクト実施

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討 (座組)

構造段階

- カスタマージャーニー
- ディレクトリマップ
- WBSの作成

骨格段階

- ワイヤフレーム
- 情報の優先順位付け
- 必要コンテンツのあたり
- プロトタイピング

表層段階

- UI/UXデザイン
- グラフィックデザイン
- アセット収集

改善段階

- KPIのフィードバック
- レポートニング
- 改善提案
- 改善プロジェクト実施

すべてのプロセスで適切なAIを活用し
プロジェクトの品質向上と効率化を図ります。

活用するAIモデルについて

On the AI model to be used



Copilot

OpenAIのGPTを用いた、自然言語処理技術を用いた検索エンジン型のチャットボット

リサーチ



Dify

オープンソースのLLMアプリ開発プラットフォーム

課題と仮説づくり 目的の明確化 簡易要件作成

課題の深掘り KPIの策定 コスト策定 必要環境の整理

体制の検討 ターゲット/ペルソナ



Gamma

オープンソースのLLMアプリ開発プラットフォーム

資料作成 プロトタイプ



tl;dv

zoom,meet,teamsと接続して自動文字起こしと議事録作成を行なってくれます（日本語対応）



Dify

オープンソースのLLMアプリ開発プラットフォーム

カスタマージャーニー ディレクトリマップ

WBSの作成



Claude 3.5 Sonnet

Anthropic社が提供している生成AI、アウトプットの品質が異次元

プロトタイプ



Gamma

オープンソースのLLMアプリ開発プラットフォーム

資料作成 プロトタイプ



表層段階



Figma

ブラウザベースのコラボレーション・インターフェース・デザイン・ツール

UI/UXデザイン



Claude 3.5 Sonnet

Anthropic社が提供している生成AI、アウトプットの品質が異次元

UI/UXデザイン



midjourney

ディスコード内で使用できる画像生成AIモデル

アセット収集



改善段階



Dify

オープンソースのLLMアプリ開発プラットフォーム

改善レポート作成



Claude 3.5 Sonnet

Anthropic社が提供している生成AI、アウトプットの品質が異次元

UI/UXデザイン

#01

戦略・要件フェーズのAI活用実演

Let's try AI play.



事業主



Let's Try!!

コンサルタント



一通りの流れをやってみましょう

課題

社員が増えて、特に新入社員に
理念が浸透していないと感じる

戦略会議の伴走

How AI can be used

-----プロジェクトフロー----->



戦略段階

- 課題からプロジェクトを発足
- 目的(5W1H)を明確化
- 簡易要件作成
- ターゲット/ペルソナ
- 課題の深掘り
- KPI(指標)の策定
- コスト策定

要件段階

- 機能仕様の整理
- 必要環境の整理
- 体制の検討(座組)

構造段階

- カスタマージャーニー
- ディレクトリマップ
- WBSの作成

骨格段階

- ワイヤフレーム
- 情報の優先順位付け
- 必要コンテンツのあたり
- プロトタイピング

表層段階

- UI/UXデザイン
- グラフィックデザイン
- アセット収集

改善段階

- KPIのフィードバック
- レポートニング
- 改善提案
- 改善プロジェクト実施

課題解決のために
やるが多すぎる



----- プロジェクトフロー ----->

戦略段階

- ・ 課題からプロジェクトを発足
- ・ 目的(SW1H)を明確化
- ・ 簡易要件作成
- ・ ターゲット/ペルソナ
- ・ 課題の深掘り
- ・ KPI(指標)の策定
- ・ コスト策定

事業者様がもつ課題をまずは整理して、どのように解決すればよいのか、適切なプロジェクトを発足します💡

表層段階

- ・ UI/UXデザイン
- ・ グラフィックデザイン
- ・ アセット収集

改善段階

- ・ KPIのフィードバック
- ・ レポートニング
- ・ 改善提案
- ・ 改善プロジェクト実施

データベースで「プロジェクトの概要書」なるものを作成します💡



ドライプリnkを貼り付け

使用するツール

Dify
(ChatGPT)
ファシリテーション
アシスタント

Google Meet
オンライン
会議ツール

tl;dv
議事録作成・
要約ツール

デザイン事務所に依頼したいけどプロジェクト管理が難しい

自社にマーケティング人材がないから施策検討ができない

事業主




Google Meet

デザイナー



ファシリテーション
アシスタント



with 

ミーティング

課題はあるけど、どう解決していいのかわからない

課題

社員が増えて、特に新入社員に理念が浸透していないと感じる



( ChatGPT)

画面を
切り替えます



-----プロジェクトフロー----->



データベースで「プロジェクトの概要書」なるものを作成します！

プロジェクト概要書から簡単に提案スライドを生成

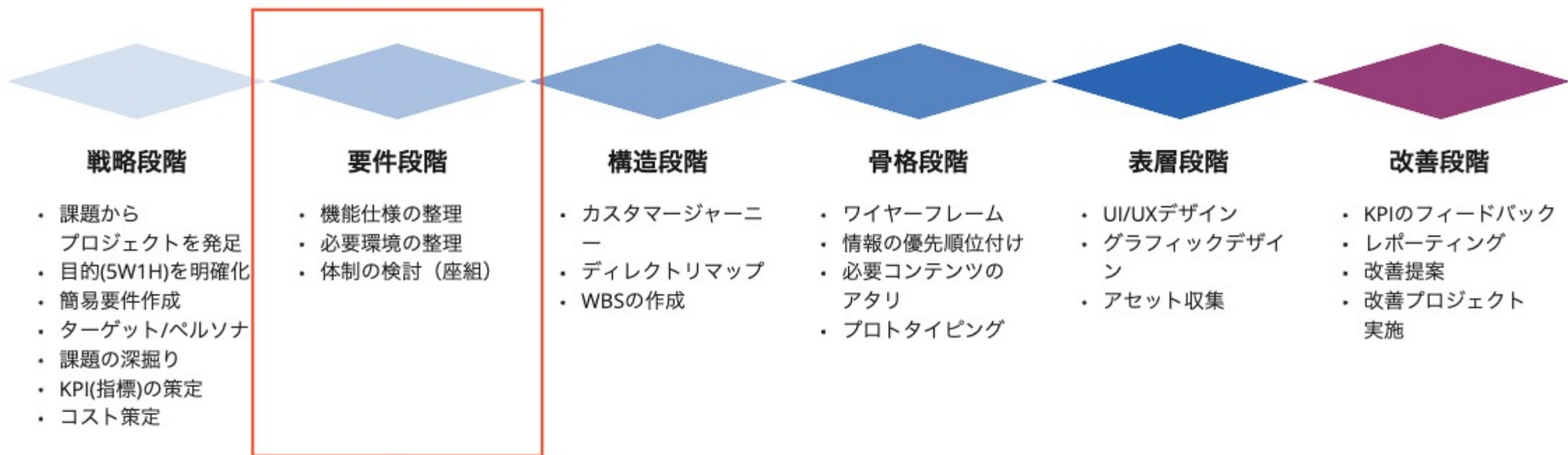


ドライブレリンクを貼り付け

要件整理会議の準備

How AI can be used

プロジェクトフロー



📁 プロジェクト概要書から「要件定義書」の叩きとなるものを作成します💡

使用するツール



ファシリテーション
アシスタント

こんにちは。これから添付する「プロジェクト概要」から「整理する情報」を会話のやり取りをしながら整理してください。すべての情報が整理できたら、Wordにコピーできるように情報を見やすく整理してください。最後には、作成した「要件定義書」資料をもとに、ネクストアクションの提案を行なってください。

##進め方

まずは「機能仕様の整理」のヒアリングをしてください。ヒアリングをする際は例をあげてください。私が回答したら何度かディスカッションをして整理する情報を確定させます。1つの情報が整理されたら、次の情報「必要環境の整理」に進み、同じように整理する情報を確定させてください。

##整理する情報

- ・ 機能仕様の整理
- ・ 必要環境の整理
- ・ 体制の検討(座組)

画面を
切り替えます



プロジェクトフロー



プロジェクト概要書から「要件定義書」の叩きとなるものを作成します

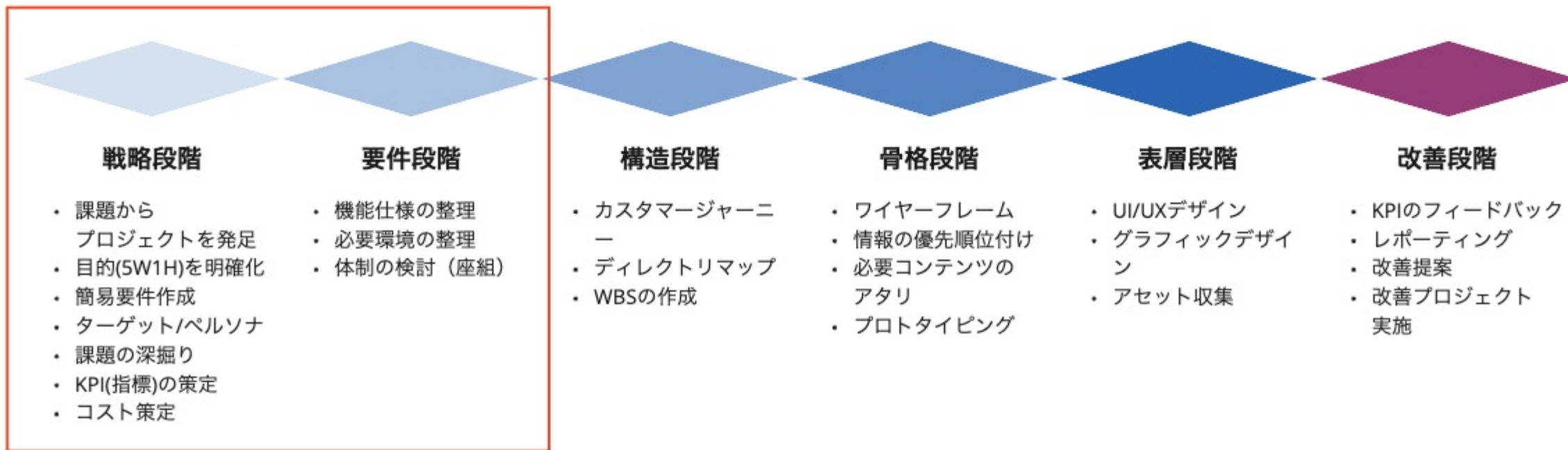
使用するツール



戦略・要件定義フローの応用

How AI can be used

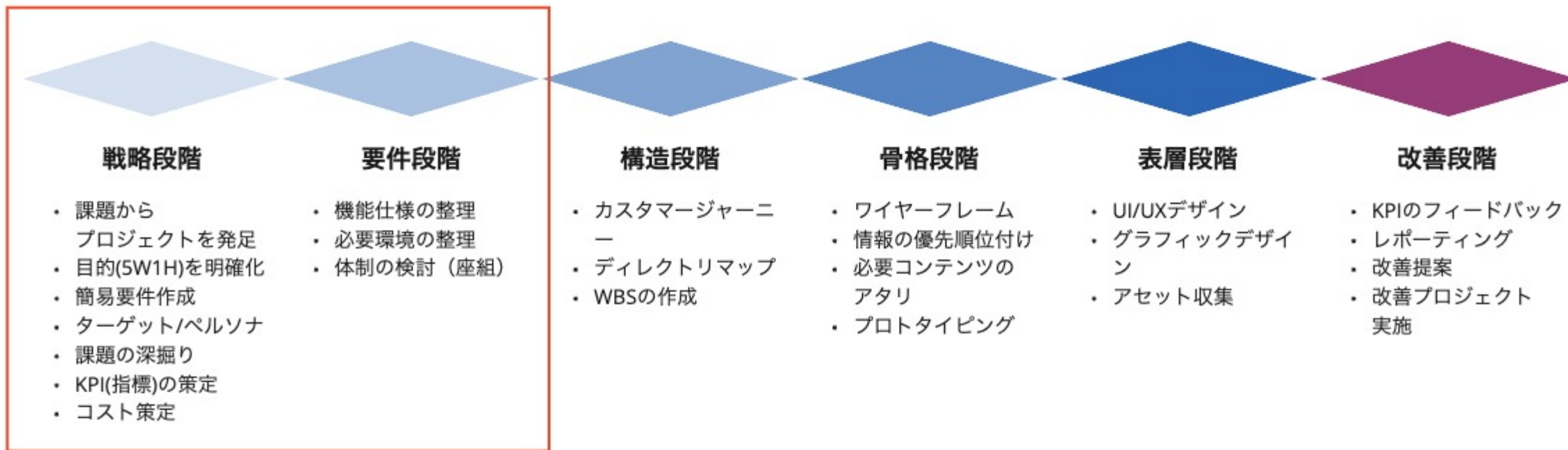
-----プロジェクトフロー----->



経営コンサルやマーケターなどの専門職でないと企業戦略に則った最適な戦略立案や、要件整理は難しい・・・



----- プロジェクトフロー ----->



経営コンサルやマーケターなどの専門職でないと企業戦略に則った最適な戦略立案や、要件整理は難しい・・・



AIアシスタントが、お客様の課題を事前にヒアリングし「プロジェクト概要」「要件定義書」まで作成可能です💡

＼さらに／

エンドポイントへの送信やAPI連携で
チャットの内容をユーザー・管理者へ送信も可能



- ✓ 相談ハードルの改善
- ✓ インサイト収集
- ✓ 対応リソース削減

詳しい実装に
ついては
ご相談ください



質疑応答

Question and Answer

next

session #02

24.09.XX





アンケートに
ご協力ください

